

## 「黒部市議会 議会改革特別委員会 議員定数に関する中間報告」に関するパブリックコメントの対応

NO	ご意見の主旨	回答
1	<p>議員定数は18名の現状維持。可能であれば20名が望ましい。</p> <p>「成長が持続する自治体を目指す」や「市民の声を市政に反映する」ためには、議員定数は少ないより多い方が良い。</p> <p>議員報酬、選挙区制度、自治振興会との役割のすみ分けを明確にすることも必要ではないか。</p> <p>また、一度だけ委員会を傍聴したが、議論しているとはいええず残念であった。</p> <p>議員が現在の報酬に見合った議会活動（各委員会や地域での役割をも含め）をするのであれば削減の必要はなく、定数削減をしても質が変わらなければ18名も16名も同じだと思う。</p> <p>市議会議員はどうあるべきかを議論いただき、市民が評価する議会活動を考えることが必要である。</p>	<p>委員会を傍聴いただき感謝申し上げます。また、ご期待に応えられる会議内容でなかったご指摘を真摯に受け止めます。</p> <p>「議員数が多い方が良い」との意見は複数の議員が提言していました。今後も議論を尽くし、市民から評価いただける活動となるよう議会全体で努めます。</p> <p>また、ご指摘の議員報酬、選挙区制度、自治振興会との役割については議論をしておりません。今回は、3つの課題に絞り議論を行ってきました。特に選挙区制度については議会として議論するべきことと認識しており、今後の課題の1つとして受け止めます。</p>
2	<p>議員定数を削減すると住民の声が反映しにくくなり、議会運営に支障があるというが、公務に遅刻したり、何も意見を言わなかったりする議員がいるのが現状であれば、市民から議員定数は減らすべきと言われても仕方がない。</p> <p>前回選挙の無投票と議員削減とはリンクしないと思っているが、前回、定員割れを確認して直前で立候補した方がいたことも事実である。</p> <p>議員定数がどのような結果になろうと、議会として、市民が納得できる説明責任をしっかりと果たし理解を求める姿勢が大切である。</p>	<p>令和2年12月議会において「黒部市議会議員政治倫理条例」を制定しました。引き続き市民の皆様から信頼される議会を目指し、活動してまいります。</p> <p>市議選について、議会としての取組には限界があることをご理解願います。なお、厳しい「説明責任」のご指摘に関して、議会全体として、議会基本条例で定められた「議会の活動原則」を遵守し、市民から信頼される議会を引き続き目指してまいります。</p>

NO	ご意見の主旨	回答
3	<p>議員定数15名（3名減）を期待していたが、16名を提言する。</p> <p>理由として、議会の役割は政策提案（市の中長期的な指針や展望を示す）と行政の監視機能を果たすことであり、それを主力に取り組んで欲しい。</p> <p>各自治振興会では地域課題を把握し、安全・安心で快適な生活のため取り組んでおり、地区要望については市議は必要なく、自治振興会に任せれば良い。</p> <p>姉妹都市の米国メーコン・ビブ郡を世界標準とすれば、議員は10名前後でも良い。地区要望のあり方や議員定数を10名前後とすることを国際地方都市、黒部市（議会）から全国へ展開してほしい。</p> <p>また、議員定数16名の懸案事項から議員が議員を削減したくない気持ちは理解できるが、定期的な地区要望会の開催や議会と監査委員との連携等の対応により解決策はある。</p> <p>議員定数削減による効果としては、真剣に議員定数削減に取り組んだことが、市民、県民、国民から評価され「ス：住みたい（移住）、イ：行きたい（観光）、ス：住みよい 黒部市」につながる。黒部市が、健全財政で、観光都市になることを期待したい。</p> <p>県内の市議会議員選挙の状況から、他市議会に遅れないよう16名を提言する。</p>	<p>ご指摘の16の自治振興会との役割分担等については、複数の議員より、振興会との役割分担や市内16地区のあり方について意見はありましたが、今回は委員会として議論しておりません。今後の課題として受け止めます。</p> <p>県内他市議会および市議会議員選挙の状況については各議員により認識は異なりますが、無投票ではなく選挙戦となることが望ましいとの意見が大多数でした。</p> <p>日本と米国では諸制度が異なりますが、ご提言いただいた世界にむけて発信していく「地方都市 黒部市」の推進について市議会において共有させていただきます。</p>
4	<p>18名から16名に削減する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後人口減が進む中現状の18名では多すぎると考える。将来を見越して、16名すべきと考える。</li> <li>・委員会活動の人員については議員間で調整</li> <li>・議員定数の削減は議員の問題ではなく市民の市政（議会）に対する関心の無さである。もっと地区・地域の方が関心を持つべきである。</li> <li>・選挙戦を行う事で議員の資質が選択され市政の活性化と発展が見込まれる。</li> <li>・地区から何人ではなく黒部市全体を考える議員であって欲しい。</li> </ul>	<p>ご指摘の将来を見越した議員定数については、2030年を見据えた案や次々回（令和8年）以降の選挙において検討など複数の議員から様々な意見がありました。</p> <p>ご指摘の地区割ではなく、黒部市全体を考える議員を期待していただいていることについて、議会として重く受け止めさせていただきます。</p>

NO	ご意見の主旨	回答
5	<p>議員定数は現状の18名でよい。</p> <p>市議会議員の任務は、市政に対する市民（地域）の意見反映と市長及び市行政の監視と考える。類似団体・近隣団体との各種比較においても議員定数は現状においては妥当である。</p> <p>定数削減は、地域住民の声が市政に届かなくなり多様な意見や意思を的確に反映することが難しくなる。また、人口の少ない地域からは、地元の意見要望等の詳細を承知している議員を送り出すことが困難になり、結果として市議会・議員への関心が少なくなり投票率の低下につながる。</p>	<p>委員会の議論の中では、多様な意見を反映するために議員数が多い方がよいとの考え方や、類似団体・近隣団体との比較においても黒部市が中位であるとの意見がありました。</p> <p>ご指摘の意見については、同様の意見が委員会に複数の議員から提案されております。</p>
6	<p>議員定数は削減ではなく現在の定数18名を維持し、人口が少ない地域にも目配りできるよう、黒部市が発展し「住みたい町（市）」になるよう市当局と切磋琢磨していただきたい。</p> <p>①地域の課題・希望を行政に直接反映するのは、まずは地域の代表である議員である。</p> <p>②市全体の諸問題・課題を提起し、いろいろな角度で意見を出し合い、方向性を見出して行けるよう議員のレベルを上げていただきたい。</p> <p>③定数削減ありきの問題ではなく、黒部市民の幸福度を上げ、黒部市に愛着を感じてもらうには、各議員の建設的な意見の発信が必要である。</p>	<p>委員会の議論の中では、各地域の実情を理解している議員が必要との意見がありました。一方で、各地域の範囲の定義にまで踏み込んだ意見集約までには至っておりません。ご指摘の①～③については、委員会の中で複数の議員から発言や提案がありました。今後とも市議会の中で共有していくことと認識しております。</p>

NO	ご意見の主旨	回答
7	<p>現在、中学校が2校となっており、今後、人口減少に伴い小学校区が統合されることを鑑みても、将来を見越して思い切って今の段階で議員定数を15名とすべきと考える。</p> <p>また、議員の「資質や言動」について大変困惑している。しっかりした人格や能力を有している者が立候補しやすい環境を整備していただきたい。</p>	<p>議論の中で、15名を提案された議員もおりましたが、委員会の最終的な提案では、各議員から提案があった16名から18名の議員定数とし、15名の提案は委員会として採用しておりません。ご指摘の環境整備や議員の資質については、黒部市議会基本条例や黒部市議会議員政治倫理条例に基づき、今後とも議会全体で取り組んでまいります。</p>
8	<p>議員定数は現状の18名でよい。</p> <p>市議会議員選挙において立候補者の減少傾向、議員のなり手不足の傾向が見られる。議員専属では生活していただくだけの報酬が得られない現実があり、待遇面の改善が必要である。特に若手議員が生まれる環境になっていない。市議会議員としての環境整備をしてから定数の見直しをしても遅くない。</p> <p>市議会議員としての役割は、市民から喜ばれる黒部市の将来構想に重きを置くことはもちろん、地域の課題解決を図りながら地域の生活環境の向上を進めることも大切である。地域をどう区分するかも重要になってくる。</p>	<p>議員報酬については、各議員からの意見もありましたが、今回の委員会において、議員自らの待遇となること及び特別職報酬等審議会でご審議いただく必要があることから、委員会として報酬や待遇については議論を行わず、課題があることのみ確認しています。</p> <p>環境整備をしてから定数を見直した方がよいとのご意見ですが、令和4年10月に次期改選があることを踏まえ、令和3年12月を目途に結論を出すことといたしました。</p>